

生活行動援助技術	1 年・後期	2 単位 60 時間	教授 箕輪 千佳 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110531

1. 授業のねらい・概要

学生が、看護実践能力の基礎となる人間の生活行動と看護について学習し、援助ニーズを充足する基本的な技術の修得を目的とする。

学生は、良い看護を行うために、人間の生活行動における共通性と個別性を理解し、より良い援助について考察する。

2. 学修の到達目標

1. 人間の生活行動における生理的・社会・心理的側面が理解できる。(D-2)
2. 衣生活の援助を実施する意義を理解する。(D-2)
3. 自力で寝衣交換が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「寝衣交換」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
4. 清潔の意義とその援助の目的を理解する。(D-2)
5. 清潔保持の方法と種類と適応、留意点を理解する。(D-2)
6. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「全身清拭」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
7. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「洗髪」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
8. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「手浴・足浴」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
9. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「陰部洗浄」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
10. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「口腔ケア」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
11. 排泄の援助技術の根拠を理解し、トイレにおける排泄、ベッドサイドでの排泄、ベッド上の排泄など患者の病態およびADLに応じた様々な排泄援助の実態について学ぶ。(D-2)
12. 自力で排泄行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「排泄の援助(床上排泄, おむつ交換)」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
13. 経口摂取可能な患者のための食事の種類や形態、具体的な介助の方法を学ぶ。(D-2)
14. 自力で摂食行動が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「食事介助」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
15. 援助を受ける人の身体的・心理的反応を体験することにより、対象の理解を深めることができる。(D-2)
16. 実施した援助を振り返り、援助提供者としての課題を明らかにすることができる。(D-2)
17. 看護提供者としての身だしなみ・態度・言葉遣いについて考え、自ら実践することができる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づく資料を用いた講義、講義内容に則ったデモンストレーション、チェックリストを用

いた演習の形式で進める。演習は3～4名の学生で編成したグループ単位で行い、患者・看護者・観察者を体験し、グループディスカッションにより学びを共有する。演習レポート（事前・事後）を作成し、学習の深化を図る。

【アクティブ・ラーニングの実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、反転授業、グループワーク、体験型学習、リフレクション、レポートを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroomによる学習課題の提示、メールによる質問の受付、web配信「ナースングチャンネル」の活用など。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	<u>衣生活の援助技術</u> 衣服を用いることの意義、目的、被服気候、衣生活のアセスメント、援助方法について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P227～P232を精読する。「看護がみえる①」P195～P206を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	箕輪千佳
2 3	寝衣交換の実際	演習	予習：課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
4	<u>清潔の援助技術（皮膚）</u> 皮膚の構造と機能、清潔の意義、方法、留意点について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P171～P189を精読する。「看護がみえる①」P140～P163を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	箕輪
5 6 7	全身清拭の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P184～P189，「看護がみえる①」P143～P163を精読する。ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
8	<u>清潔の援助技術（洗髪）</u> 頭皮・頭髪のアセスメント、清潔保持の方法の種類と適応、留意点	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P190～P198を精読する。「看護がみえる①」P184～P194を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	箕輪
9 10 11	洗髪の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P190～P198，「看護がみえる①」P184～P194を精読し、ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：演習振り返りシートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
12	<u>清潔の援助技術（手浴・足浴）</u> 手浴・足浴の効果、方法の種類と適応、留意点	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P199～P204を精読する。「看護がみえる①」P164～P174を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	箕輪

13 14 15	手浴・足浴の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P201～P204，「看護がみえる①」P164～P174を精読し，ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
16	<u>排泄の援助技術</u> 排泄器官の機能と排泄メカニズム，排泄援助の意義，排泄援助のアセスメント，排泄援助方法の種類と適応，留意点について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P65～P79を精読する。「看護がみえる①」P218～P242を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	箕輪
17	尿器・便器介助の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P74～P77，「看護が見える①」P218～P242を精読し，ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
18 19	おむつ交換の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P77～P79，「看護が見える①」P218～P242を精読し，ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
20	<u>食生活の援助技術</u> 消化管の構造と機能，食事の意義，食事のアセスメント，食生活の援助方法，留意点，口腔ケアについて <u>清潔の援助技術（口腔）</u> 口腔内の清潔のアセスメント，清潔保持の方法の種類と適応，留意点	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P29～P61，P215～P223を精読する。「看護が見える①」P106～P139を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	箕輪
21 22	食事介助の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P39～P51，「看護が見える①」P106～P125を精読し，ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
23 24 25	技術チェック	演習	予習：課題の練習をNSTCで練習する。 復習：達成できなかった点について再度練習する。課題問題についてテキストや参考書を使用し正誤について調べる。	箕輪，他
26 27	陰部洗浄の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P204～P206，「看護が見える①」P175～P183を精読し，ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	箕輪，他
28 29 30	<u>まとめ</u> 複数の技術を組み合わせて、一連のケアとして行う場合の計画、実施発表	演習	予習：事例に沿って一連のケアの計画を立てる。 復習：ケア計画の追加・修正を行う。	箕輪，他

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）60％，技術チェック20％，授業参加度10％，提出物10％を総合的に評価する。

尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法，技術チェックの課題及び実施要項は事前に口頭と文書で提示する。

6. テキスト・参考文献

教科書：1) 任和子：系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ，医学書院，2026

2) 医療情報科学研究所編：看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第2版，メディックメディア，

参考書：随時紹介する

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学修内容

シラバスの授業計画の範囲について，最低1時間の予習および授業内容について最低1時間以上の復習を行う。

臨地で実践可能な水準の技術を修得するため授業時間外で自主練習を行う。

さらに，指定された課題レポートに取り組み，期限内に提出すること。

演習時は臨地実習と同様の身だしなみを整えておく。

8. 受講上の留意事項

演習は，NSTC 使用ガイドに沿うこと。

演習時は臨地実習と同様の身だしなみをする。

安全確保のため演習中は教員の指示に従うこと。

2年後期の「受け持ち看護実習」の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出物は教員が内容を確認して返却する。内容の不備なものは再提出を求めることもある。

技術チェックの結果は，実施後の「技術チェックの振り返り」でフィードバックする。

定期試験の答案は返却しない。模範解答は試験後解説するか，もしくは掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目及び，2年生後期の受け持ち看護実習の先修科目であるため，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行います。